

令和2年度高次脳機能障害支援に係る 医療・保健・福祉関係職員研修会（オンライン研修）

脳損傷後に現れる認知機能の後遺症である高次脳機能障害は、リハビリテーションによって回復に向かいます。しかしながら、当事者や家族は、障害を理解することが難しく、戸惑いや不安を抱えることが少なくありません。また、見えない障害もあり、周囲の理解が得られにくく、アセスメントも難しく、支援者が対応に悩むこともあります。高次脳機能障害があっても生き活きと生活できるよう、様々な専門職がどう連携してサポートしていくのか、皆さんも考えてみませんか。

第1部 講演

テーマ「高次脳機能障害者の就労支援の実際～知りたい！入院から就業までの多
機関連携による継続支援、当事者の声～」(仮)(80分)

講師：言語聴覚士・訪問型ジョブコーチ 市野 千恵 氏

医療法人愛広会入職後、回復期病院、物忘れ外来、高齢者施設にて、言語聴覚士として従事。新潟医療福祉大学言語聴覚学科・助手を経て、新潟市障がい者就業支援センターこあサポートに入職。障害当事者と企業の間の中堅支援機関として、障害者の就業支援に従事。2020年1月からは、青年海外協力隊としてミャンマーに赴任していたが、コロナ禍により避難一時帰国中。

座長：新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部言語聴覚学科
新潟医療福祉大学院保健学専攻言語聴覚学分野 教授 今村 徹 氏

第2部：事例報告

テーマ「失語症のある方への支援
～地域リハビリテーションにおける実践を学ぶ～」(仮)(80分)

事例報告者：長岡西病院 リハビリテーションセンター 言語聴覚士 竹内 裕美 氏

助言者：新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部言語聴覚学科
新潟医療福祉大学院保健学専攻言語聴覚学分野 教授 今村 徹 氏
新潟リハビリテーション大学医療学部リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻長 講師 佐藤 厚 氏

日 時：令和2年12月13日(日) 午後1時30分～4時30分

■対象者 医療関係者(医師、看護師、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、医療相談員、臨床心理士、公認心理師等)保健福祉関係職員(サービス管理責任者、相談支援専門員、介護支援専門員、支援員等)行政職員、高次脳機能障害者の支援に携わる者
*Zoomによる受講が可能な方に限ります。

■申込方法 11/20(金)までに裏面別紙「受講申込書」により申し込む。【定員 先着80人程度】
(本紙及び受講申込書は新潟県精神保健福祉センターホームページに掲載)

■問合せ先 新潟県高次脳機能障害相談支援センター(新潟県精神保健福祉センター内)
電話：025-280-0114 FAX：025-280-0112

共催：新潟県言語聴覚士会、新潟県理学療法士会、新潟県作業療法士会、
新潟県介護支援専門員協会、新潟障害者職業センター(予定)
主催：新潟県精神保健福祉センター

新潟県高次脳機能障害相談支援センター
(新潟県精神保健福祉センター内) 渡邊・荻野宛 (送付文不要)
FAX: 025-280-0112
E-mail: ngt043040@pref.niigata.lg.jp

令和2年度高次脳機能障害支援に係る
医療・保健・福祉関係職員研修会 (オンライン研修)
受講申込書

所属: _____

受講者: 職名・氏名: _____

電話: _____ FAX: _____

メールアドレス (研修受講時の登録アドレス): _____

*上記メールアドレスで同時に受講される方がいらっしゃればご記入ください。

職名	氏名	備考

*講師への質問等ありましたら御記入ください。

--

■参加をお断りする場合は、速やかにご連絡します。

■受講決定者には、事前に参加URLをお伝えします。

申込み期限: 令和2年11月20日 (金)